

日本福音ルーテル教会 女性会連盟 第 21 期 142 号

# 会報



総主題

「キリストにつながる喜び」—祈りあい、支えあう—

2011. 4. 15

発行 日本福音ルーテル  
教会女性会連盟

〒169-0072 東京都新宿区

大久保 1-14-14

発行者 谷口 美樹

編集者 竹森 洋子

印刷 平山印刷出版

## 主題聖句

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。人がわたしにつながっており、わたしもその人につながっていれば、その人は豊かに実を結ぶ。わたしを離れては、あなたがたは何もできないからである。ヨハネ 15 章 5 節—

あなたと  
つながる



「祈り」という準備から始めよう

日本福音ルーテル帯広教会

(帯広、池田、釧路)

牧師 加納 寛之

北海道で七度目の春を迎えます。イースターの喜びを、この地は気付かせてくれました。三月、四月はまだ雪の季節。復活祭の礼拝で「イースターは春のお祭りです」と語る窓の外が吹雪いていることもありました。花が咲き、桜が満開、小鳥のさえずり等、命が力強く証ししてはいません。これから新しい命が芽生え、新しい歩みが始まっていく息吹を教えてください。イースターです。それは半年間、雪に閉ざされ、寒さの中で人間も木々も花も春を待ち望んでいるからこそ、その喜びも大きなものになっています。

北欧等には「春の大掃除」の習慣があるそうです。イースターを迎える前に家の隅々まで掃除をして、主の復活の喜びの時の準備をします。掃除そのものも大事ですが、心を整えて、希望の中でイースターを待ち望むことが大切なのです。三日目の朝にイエス様の所に行った女性達も、前の日から準備をして墓に行きました。私達の信仰も復活の主を迎える準備をして、

イースターの喜びの時に備えているでしょうか。新しい歩みを始める前には準備が必要です。

冬が厳しければ厳しいほど、春は待ち遠しく、迎えた喜びは大きいものです。人生の冬と思えるような試練や困難の中で、神様の恵みに気付く時も同じです。またしっかりと準備をすれば、それだけ与えられた喜びも格別なものです。

私達の信仰生活は、誰もが一度きりのキリストとつながる洗礼から始まっています。そして主日礼拝や復活祭の礼拝は、新しい歩みへと送り出してくれる大切な時です。積み重ねの中の一歩ですが、常に準備をしてその時を迎えましょう。何度も新しい季節、新しい歩みが始まります。キリストにつながった私達が、新しい歩みを始める準備は「祈り」です。執り成しの祈り、感謝の祈り、委ねる祈り、交わりの祈り等。そしてすべてを始める準備として祈って、祈り合って喜びの道を受け止め、歩み始めましょう。